



徳島大学

歯学部たより

Tokushima University Faculty of Dentistry

第 9 号 2023.4.1



ようこそ 徳島大学 歯学部へ

歯学部長

馬場 麻人

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

さて、歯学部の教育により、歯科医師・歯科衛生士・社会福祉士の国家試験に合格をすることは一つの目標ではありますが、卒業後臨床や福祉の現場に出た時に、様々な健康上や社会的な問題を抱えた方々の体調や状況を少しでも改善し、幸せを届けられるような人材になることが、皆さんが社会から求められていることです。そのため皆さんには、実際の現場で活動するというイメージをなるべく早くからもって、さらに高度な知識を吸収し、技術的なトレーニングを十分に

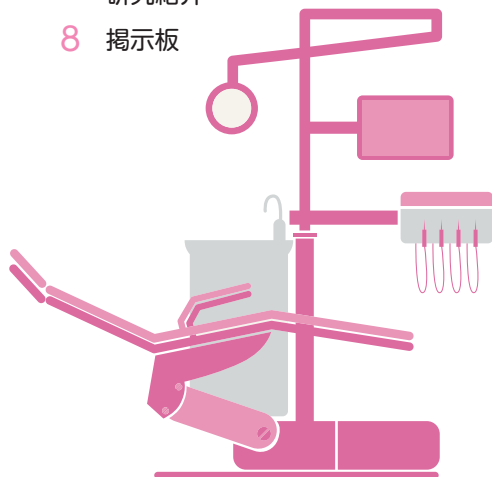
行ってもらいたいと考えています。また、人間としての成長のために様々な経験をすることも大切なことです。特に、歯学科と口腔保健学科には、高学年に臨床実習があり、そこでは、実際の患者さんに向き合うこととなりますが、その場で得られるものは、歯学教育の集大成であり、低学年のうちから、この臨床実習に向けて学んでいくという意識が重要かもしれません。そして臨床実習を含め、現場で活動するためには、適切なコミュニケーションが取れるようになることも必要です。

ところで、昨年からの新入生から、歯学科は新カリキュラムとなっており、本年4月から彼らは専門課程が始まります。新カリキュラムでは専門課程が以前より半年早く始まり、この半年の時間には、大学病院外での臨床実習、地域医療・災害医療・グローバル教育・研究体験など、新しい歯科教育モデル・コア・カリキュラムで求められるプログラムが充てられます。4年次後期には、臨床実習前実習と臨床実習に進むための共用試験(CBT・OSCE)が実施され、5年次1年間には大学病院での臨床実習が行われ、実習終了時には再び共用試験(Post-CC PX)が行われます。この共用試験は、皆さんが進級する時には、公的試験として実施される予定で、その合格が国家試験の受験資格になることが予定されています。

コロナ感染が始まってすでに3年が過ぎ、この原稿を書いている正月明けには感染拡大の真っただ中ではありますが、大学はこれまでの経験をもとに、基本的にはウィズコロナにシフトしてきています。我々は、入学する皆さんが、コロナ感染の影響を大きく受けることなく、少しでも幸せに過ごせるようバックアップしていきます。講義・実習を受けることは大事ですが、在学中により多くの友人を得て、また先輩や先生方と多くのコミュニケーションをとり、自分の将来を考えることも必要です。どうぞ、6年間、あるいは4年間を楽しんで過ごしてください。

CONTENTS

- 1 学部長挨拶
- 2 歯学部での学び
- 3 新入生担任紹介
各学年担任紹介
- 4 学生生活の注意
キャンパスライフ
- 5 国際交流
留学生紹介
- 6 附属図書館紹介
徳島大学病院の動向
サークル紹介
- 7 退任教授挨拶
新任教授挨拶
研究紹介
- 8 掲示板



歯学部での学び

歯学部教務委員会委員長 / 口腔生命科学分野 教授 **工藤 保誠**



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心から喜び申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、受験勉強において大変な苦労があったことと思います。本年5月8日からは、現状の「2類相当感染症」から「5類感染症」とする方針を政府が決定しました。大学においてもウィズコロナの取り組みをさらに進め、日常を取り戻すことができるよう歩みを進めていくこととなります。

ここでは歯学部での教育について紹介します。まず歯学科では、平成29年に発表された歯学教育モデル・コア・カリキュラムに対応し、「災害歯科医療」、「法歯学」、「歯科英語」、「チーム医療」、「地域医療」、「摂食・嚥下」、「スポーツ歯学」といった新たな科目を取り入れた新しいカリキュラムが昨年度よりスタートしました。

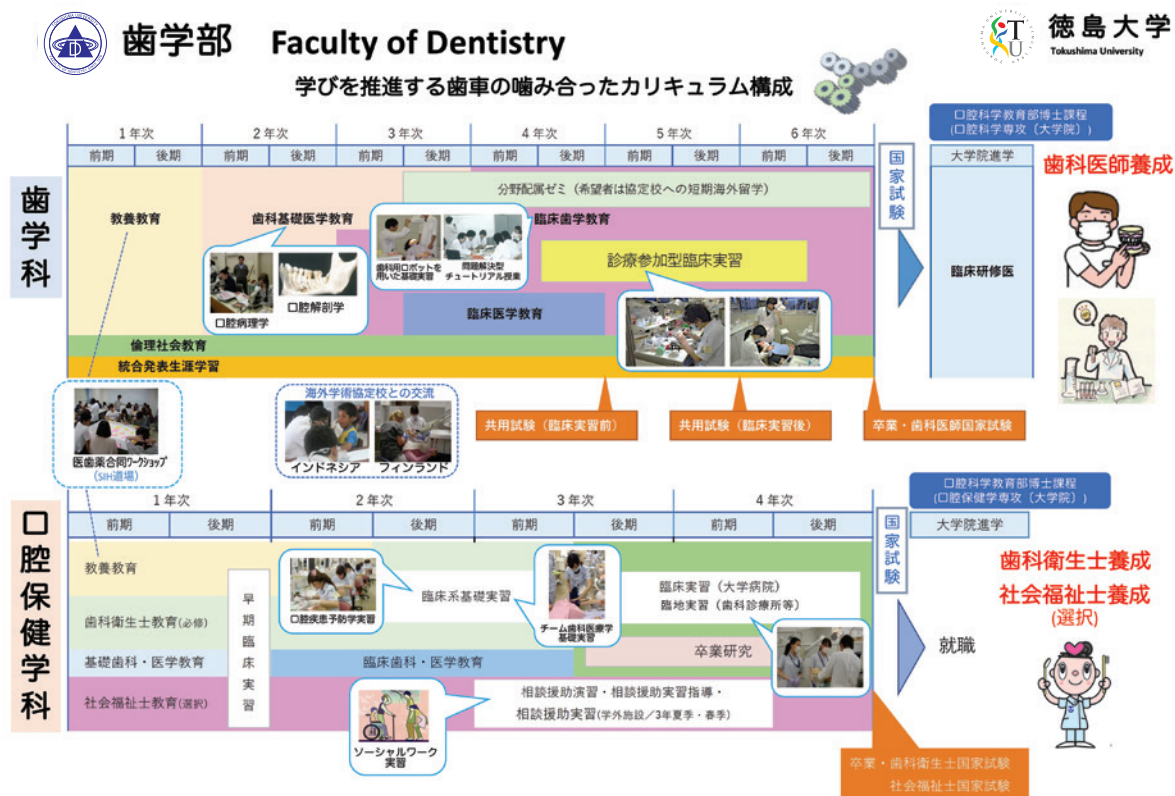
下に、歯学部の卒業までのカリキュラムを示します。歯学科では1年間の教養教育課程の後、2年次から歯科基礎医学教育、臨床医学および臨床歯学教育を講義・実習を通して学びます。そして4年次後期には、全国共通で行われる共用試験「パソコンを用いた基礎学力試験（CBT）」および診療室での態度・実技を確認する客観的臨床能力試験（OSCE）を受験し、合格基準に達すれば、Student Dentistの称号が与えられ、5年次から開始される診療参加型臨床実習に進みます。実習中は徳島大学病院内だけでなく、地域包括医療の一環として学外の高齢者施設などでも実習を行います。この実習終了後には、臨床実習終了後技能試験（Post-CCPX: post clinical clerkship performance examination）が行われ、最終的には歯科医師国家試験を受験し歯科医師

免許を得ます。さらに歯科医師として活動するためには、卒業後に最低1年間の研修医期間を経る必要があり、研修先は本学病院を含め、6年次の8月ごろからマッチングによって決めていくこととなります。

一方、口腔保健学科では、1年次から教養科目とともに専門基礎科目の教育が始まり、学年進行とともに口腔保健・福祉に関する知識や技術を学びます。さらに3年次後期からは、大学病院や地域の歯科診療所や高齢者施設等において臨床・臨地実習を行い、歯科衛生士としての知識・技術・態度を成熟させ、卒業研究において専門性を高めます。最終的には歯科衛生士国家試験を受験し免許を得ます。口腔保健学科では歯科衛生士に加えて、選択科目の履修により社会福祉士の国家試験受験資格も得ることができます。

両学科ともに、大学院に進むことでより専門性の高い研究を行う機会が提供されます。大学院を修了した後は、学位（博士、修士）を得ることでキャリアアップを目指すことができます。

大学における教育は単に知識の供与ではなく、自分で考え、自分で解決する力、自分で道を切り開く力を養うためにあります。周りの仲間や先輩・後輩、教員とのコミュニケーションを大切にして、学生時代に多くのことを積極的に学んでください。「初心忘れるべからず」、入学時に抱いている希望やフレッシュな気持ちを忘れずに、充実した学生生活にしましょう。これからの皆さんの活躍を大いに期待しています。



新入生担任紹介

(敬称略)

歯学科 1年 担任 **山本 朗仁**

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの大学生活が実り多いものになるようサポートします。困ったことがあれば、いつでも相談に乗ります。楽しく有意義な大学生活になるように頑張りましょう。



歯学科 1年 担任 **川人 伸次**

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは無数の可能性を秘めています。自信を持って様々なことに積極的に挑戦してください。学生生活が有意義で充実したものになるよう精一杯サポートさせていただきます。



口腔保健学科 1年 担任 **松山 美和**

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

友人をつくり、大いに学び、多くを体験し、これから始まる大学生活を充実させましょう。みなさんが自身で考え行動する医療人になれるよう、全面的に支援いたします。



口腔保健学科 1年 担任 **福井 誠**

ご入学おめでとうございます。これから経験する様々な学びや出会いを大切に、どんどんチャレンジしてください。皆さんの学生生活が有意義となるように担任としてサポートしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



各学年担任紹介

(敬称略)

歯
学
科

2年



濱田 賢一



保坂 啓一

3年



工藤 保誠



岩崎 智憲

4年



石丸 直澄

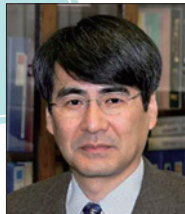


松香 芳三

5年



吉村 弘



市川 哲雄

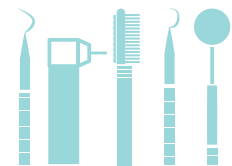
6年



馬場 麻人



湯本 浩通



口
腔
保
健
学
科

2年



白山 靖彦



藤原奈津美

3年



日野出大輔



渡辺 朱理

4年



片岡 宏介



吉田 賀弥

学生生活の注意

歯学部学生委員会委員長 / 生体材料工学分野 教授 **濱田 賢一**



高校卒業時に既に成人である皆さんは、独立した個人として社会に参加する権利を得るとともに、自律的に行動しその責任を負う義務を課せられました。この権利と義務は社会人ではない皆さんにも等しく与えられています。また、歯学部学生である皆さんは、将来の医療従事者として高い倫理観を備え、それに基づいて正しく行動することを社会から求められ、注視されていることを自覚して下さい。とはいえ、様々な局面で正しく行動するには多角的な学びと、それに基づく実践の積み重ねが必要です。皆さんは歯学部での多様な学修と訓練を通して、一刻も早く良き社会人、優れた医療従事者、卓越した研究者となることを目指して努力を続けて下さい。

キャンパスライフ

歯 学 科

1
年次

渥美 孝祐

僕は毎日授業を受けたあとは課題をやって、研究室で自分のテーマの作業をしています。曜日によっては部活のテニスがあって、あまり暇な時間というものがないです。その反面、面白い仲間たちと充実した毎日過ごすことに何よりの生きがいを感じますね。

2
年次

笠井 玲緒

2年生になると、いよいよ蔵本キャンパスでの専門科目の授業が始まります。授業内容は難しく感じることも多いですが、実習などを通して歯学部であることを実感し、歯学の奥深さや面白さをさらに感じることができると思います。

3
年次

猿棒 元陽

3年後期からようやく臨床科目が始まります。むし歯の治し方、入れ歯の作り方等を座学で勉強します。今までの学年と同様に日々勉学に励まなければなりません。

4
年次

猿山 善章

4年生では、歯科医師が治療の上で必要な知識を身につける授業が今まで以上に濃密になっていきます。さらには、臨床実習という歯科医師が治療の上で必要な技術を身につける実習も始まります。5年生になると病院実習が始まるので、現場に立った時に適切な行動がとれるように準備する学年だと考えます。

5
年次

植木 雄仁

CBTもOSCEも乗り越え、ついに病院での臨床実習です。これまでの講義や実習で見聞きしたことの実際を見に行きます。やることが多くて忙しい日々ではありますが、それ以上に刺激的で充実した毎日過ごしています。

6
年次

佐藤 幹

6年間という長い学生生活もいよいよ終わりです。病院での臨床実習を終え、卒業試験に合格すると、その後は国家試験が待ち構えています。国家試験の難易度は年々高くなってきているので、気を引き締めて最後まで勉学に励みます。

口 腔 保 健 学 科

1
年次

古川 眞有

1年生は常三島キャンパスで教養科目を、蔵本キャンパスで専門科目を学びます。また、前期のうちから早期臨床実習で大学病院を見学することができます。各々部活動やアルバイトなど充実した生活を過ごしています。

2
年次

星川 睦季

2年生から、歯科衛生士・社会福祉士になるために必要な専門科目の講義が増えます。また、ファントムを用いた基礎実習が始まります。一人一人ファントムに名前をつけ、患者さんへの対応を意識した知識や技術を学んでいきます。

3
年次

伊月 陽菜

3年生では、前期には専門科目の授業と基礎実習があり、後期からは臨床での実習が始まります。臨床実習は大学病院や診療所等で、福祉実習は高齢者施設等で実践的な学習ができ、より多くの知識と技術を習得できます。

4
年次

浦川 彩菜

4年生は臨床実習や就職活動、卒業研究、卒業試験などに取り組み、学びや発見が多い1年となります。さらに、歯科衛生士と社会福祉士の国家試験に向け、ダブルライセンス取得を目標に皆で勉学に励みます。

国際交流



Niken記念国際交流奨励賞プログラム第2回国際ウェビナーの開催

歯学部の子生交換プログラム(SEP: Student Exchange Program)や各種の国際交流については、COVID-19の影響によって中断されたままになっております。たださえ日本人の内向きの姿勢が問われている中、この面からの活動強化が望まれるところです。

令和4年度も昨年同様、実際の交流の代替措置として、12月5日にNiken記念国際交流奨励賞プログラム(NiMS)の第2回の国際ウェビナーを開催しました。インドネシアの7大学と本学の学生、教職員 100名を超える参加者がZoomミーティングルームに集まりました。このNiMSはガジヤマダ大学とムハンマディア大学歯学部で長年教鞭を執られ、多くの優秀なインドネシアの学生を本学大学院に派遣され、SEPの実施にも尽力されたNiken先生の功績を讃えて設置されたものです。今年のウェビナープログラムは片岡宏介教授のKeynote lecture、Niken-Health Promotion賞を受賞した2人と今年から新設されたNiken-Dental Device and Magnetics賞を受賞した1人、計3人のAward lecture、インドネシア6大学学生代表者6人と本学の学生4名による学生発表が行われました。学生10名は素晴らしいプレゼンテーションを行い、5年生の野田万由さんとインドネシア学生1人が優秀発表者に選ばれました。令和5年度以降は是非とも実質の対面の国際交流が再開されることを願うばかりです。(市川哲雄 記)

留学生紹介



充実した留学生活

組織再生制御学分野
夏 霖泽 (Xia Linze)

みなさん、こんにちは。私は中国出身、大学院口腔科学研究科博士4年生の夏霖澤と申します。日本に来てから4年が経ちました。この4年間で振り返ってみると、多くの素敵なことが思い浮かびます。

徳島に来たばかりの頃は、日本語がまだあまり上手ではありませんでした。思い返すと笑ってしまう例ですが、レストランで料理を注文するとき、「これ、これ」といった初心者レベルの日本語やジェスチャーを使っていました。さらに、食文化やマナーなどにも不安を感じていました。しかし時間が経つとともに、私の大学の先生と友だちはみんな親切で、いつも優しくしていただけており、少しずつ徳島での生活に慣れたので、不安と心配はだんだんなくなりました。

一方、歯科知識の勉強と学術研究は留学生活の中で最も重要です。研究者あるいは、教育者として必要とされる論理的思考、実験スキル、歯科教育など、挑戦に満ちた能力育成において、何度も失敗したことがありますが、私は諦めずに頑張ってきて、なな先生方と友だちに手伝っていただいたおかげで、何とか乗り越えてきました。色々大変でしたが、良い結果を取れて嬉しかったです。

最後になりますが、先生方や友達をはじめ、多くの方々に感謝しています。本当にありがとうございます！



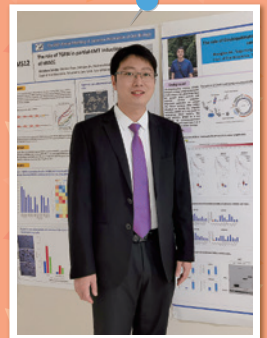
私の留学生活

口腔生命科学分野
金 晟剑 (Jin Shengjian)

皆さん、こんにちは。私は金晟剑です。3年前に中国から徳島大学に来ました。そして、私は、徳島大学口腔生命科学分野の工藤教授の博士課程の学生であることを光栄に思います。工藤教授は研究で私に手厚く指導するのみならず、生活面でも私に細心の配慮をしてくれます。時がたつのは早いもので、大学院卒業までもう1年半しか残っていません。研究室においても、周りの先生が私を助けてくれ、この3年間で私自身が成長することができました。

徳島での生活はとても刺激的ですが、実験がうまくいかないことがよくあります。私には多く友人がおり、最も仲がいいのが先輩の木曾田さんです。彼は、私に徳島を案内するために、レンタカーを借りて、いろいろなところにつれていってもらいました。とても楽しい時間を過ごすことができました。

あと残りの1年半で、有意義な徳島生活を送りたいです。



A grateful heart is the key to living happily.

歯周歯内治療学分野 ENGGARDIPTA RARAS AJENG

Starting a new chapter as an international student is challenging. Homesickness, cultural shock, and hardships during studies bring unhappiness. To lessen those uncomfortable feelings, we must remember the encouragement and support from family, friends, and our goals of pursuing higher education degrees in Japan. We can try to engage Japanese culture, life, and language through various cultural activities and language courses. We can meet other international students to share stories and experiences about life in Japan. But the most essential is to cherish every bitterness and sweetness in this journey, full of gratitude in our hearts for this great opportunity.



Living in Tokushima: A beautiful adventure

顎機能咬合再建学分野 PARIMAL RAVINDRA CHAVAN

I came to Japan from India about three years ago. I was not familiar with what Tokushima was going to be like. But over time, it has proven to be a very significant part of my life. Tokushima has its rare natural beauty that changes every season. It is rich in history and culture that I have grown fond of over the years. My life experience here has been remarkable as the people here are very kind and friendly. Living in Tokushima has made me appreciate nature and helped me lead a simple, mindful, and healthy lifestyle.



附属図書館紹介

附属図書館運営委員
生体材料工学分野 教授

濱田 賢一

大学図書館は教育・学修・研究活動を支える知の拠点です。グループ学習室での討論を通して主体的・能動的な学修が可能です。授業サポート・ナビは様々な科目の教科書・参考書を集中的に配置し、効率的な予習・復習を支援します。オンライン・データベースを利用すれば、眼前に膨大な知の海が広がっています。自習スペースも用意されています。コロナ禍による利用制限下でも、郵送貸出サービスや複写物郵送サービスを新たに導入して、知の拠点は維持されてきました。円安による海外学術誌購読費の暴騰や、光熱費の急増など、図書館運営には試練が続きますが、皆さんが有意義に図書館を利用できるよう維持整備の努力が続けられています。



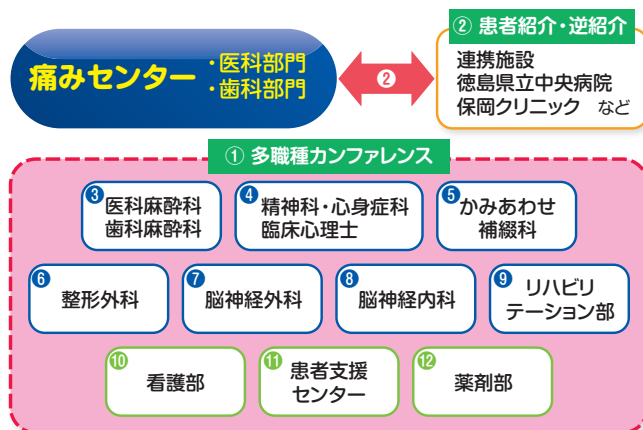
徳島大学病院の動向

徳島大学病院 副病院長（歯科担当）
歯周歯内治療学分野 教授

湯本 浩通

2022年8月に歯科麻酔科学分野・川人伸次教授（病院長補佐・医科歯科連携担当）のご提案により、痛みに関して専門性を持ち、集学的に治療を行う「痛みセンター」が開設されました。慢性疼痛治療領域において、現在最も深刻で早急な対策が求められているのが、口腔顔面痛であり、四国で唯一歯学部を有する徳島大学の強みを生かし、医科・歯科連携を強化し、「口腔顔面痛治療にも専門的に対応可能」なセンターとして運営されており、歯科のみならず、徳島大学病院内の関連部門として、医科部門（医科麻酔科・脳神経内科・精神科・脳神経外科・整形外科・リハビリテーション部・理学療法士・臨床心理士等）や歯科部門（歯科麻酔科・かみあわせ補綴科を中心）等の各科との連携・協力体制が構築されています。今後も精密・高度かつ安心・安全な歯科治療を提供していきたいと思っております。

徳島大学病院 痛みセンターにおける
診療科・コメディカル・他施設との連携



サークル紹介

準硬式野球

助言指導教員 吉村 弘 教授
責任者 阿瀬 健太

サッカー

助言指導教員 湯本 浩通 教授
責任者 出雲 来樹

バレーボール

助言指導教員 中西 正 准教授
責任者 佐藤 慶知

ゴルフ

助言指導教員 保坂 啓一 教授
責任者 安富 悠人

歯科研究会

助言指導教員 伊藤 博夫 教授
責任者 平田 若菜

硬式庭球

助言指導教員 日野出大輔 教授
責任者 後藤 凱

ソフトテニス

助言指導教員 山本 朗仁 教授
責任者 荻野 遥基

水泳

助言指導教員 松香 芳三 教授
責任者

柔道

助言指導教員 尾崎 和美 教授
責任者

バスケットボール

助言指導教員 馬場 麻人 教授
責任者 米田 恵佑

剣道

助言指導教員 石丸 直澄 教授
責任者

卓球

助言指導教員 西岡 安彦 教授
責任者 湯本 華帆

退任教授挨拶

退任の挨拶

総合診療歯科学分野 教授 **河野 文昭**



2002年7月から総合診療歯科学を担当してまいりました。1977年4月に徳島大学歯学部に入學して以来、46年間徳島大学でお世話になり、この3月に徳島大学を退職することになりました。その間、皆さまのご厚情に支えられ大過なく教育・研究・臨床を遂行することができました。退職後は、これまでとは違う立場で歯学教育、徳島大学の発展をお手伝いしたいと思っております。引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

退任の挨拶

口腔保健教育学分野 教授 **伊賀 弘起**



定年退職にあたりご挨拶申し上げます。歯学部1期生として卒業して以来、現在まで一貫して徳島大学歯学部でお世話になりました。卒業後は口腔外科にて診療、教育、研究の経験を積み、平成19年からは口腔保健学科にて大学院博士後期課程の設置や国際交流の発展に尽力してまいりました。その間に口腔保健学科長や徳島大学副理事を務めさせて頂いたことは私にとって身に余る光栄でございました。皆様のご高配に感謝申し上げ、歯学部の益々のご発展を心よりお祈りしております。

新任教授挨拶

口腔微生物学分野 教授 **住友 倫子**



令和5年2月1日付で、口腔微生物学分野 教授を拝命いたしました。私は平成12年に徳島大学工学部生物工学科を卒業後、同大学院工学研究科にて博士号を取得しました。その後、大阪大学歯学部口腔細菌学教室で、レンサ球菌感染症の研究と歯学教育に取り組んでまいりました。今後は、口腔を起点とする全身疾患の解明と次世代の歯科医療・歯科医学を牽引する人材の育成を目標として、母校の発展に全力を尽くす所存です。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

研究紹介

顎顔面口腔領域の感覚と運動の総合的理解を目指して 口腔分子生理学分野 教授 **吉村 弘**



口腔分子生理学分野では、「唾液腺」と「脳科学」という2つの研究テーマで研究を進めています。顎顔面口腔領域と中枢神経系は深い関係にあります。唾液分泌制御に関わる細胞レベルでのチャンネル・受容体の発現機序、摂食嚥下に対する味覚・嗅覚の役割、大脳皮質神経オシレーションの発生機序などに焦点を当てて研究を進めています。特に、「感覚と運動」という視点から顎顔面口腔領域の機能解明を目指しています。

炭酸アパタイト人工骨の開発から再生医療へ 口腔外科学分野 教授 **宮本 洋二**



私共は低結晶性炭酸アパタイトの合成に世界で初めて成功しました。治験を経て、薬事承認を受け、歯科分野のあらゆる骨欠損に適用のある新規人工骨（サイトランス®グラニュール）として上市しました。さらに、操作性向上のために、魚ウロコ・コラーゲンを利用して柔軟な炭酸アパタイト人工骨の開発にも成功しました。また、骨の再生医療用の担体（足場）の開発を目指し、2種類の炭酸アパタイト多孔体の作製にも成功しました。現在、これらの実用化に向けて研究を継続中です。

地域歯科保健の課題に取り組む疫学研究 口腔保健衛生学分野 教授 **日野出大輔**



当分野では、地域歯科保健の課題に関する解析から住民のQOL向上に繋がる研究に焦点をあてて取り組んでいます。母子保健では、妊婦を対象とした口腔状況・保健行動と子どもの乳歯う蝕発症との関連などから、行政の行う無料妊婦歯科健診の有用性を報告しています。また、後期高齢者を対象とした口腔保健と要介護等発生との関連、更に医療費との関連を調べる疫学研究から、オーラルフレイル対策の重要性を導く報告を行っています。

寄附者のご紹介 令和4年3月1日～令和5年2月28日

ご支援、誠にありがとうございました。

- 一般財団法人 厚仁会 理事長 秋山 靖夫 様
- 医療法人 安田歯科 理事長 安田 勝裕 様
- 医療法人社団 友伸會 理事長 堀米 伸康 様

徳島大学歯学部
教育研究基金への
ご協力をお願い

「徳島大学歯学部教育研究基金」は、2016年の創立40周年を機に創設されました。ご寄附をいただいた方には、この歯学部だよりにご芳名を掲載させていただき、20口（一口5,000円）以上の方は校舎に掲示させていただきます。詳しくはホームページをご覧ください。



<https://www.tokushima-u.ac.jp/dent/donation/donation.html>

異動
教員人事

※講師以上、病院歯科を含むが、昇任を伴わない研究部・病院間の異動は除く。

	※日時	※分野	※職名	※氏名	※内容
□ 転出 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)	令和5年3月31日	総合診療歯科学分野	教授	河野 文昭	定年退職
	令和5年3月31日	口腔保健教育学分野	教授	伊賀 弘起	定年退職
	令和5年3月31日	歯周歯内治療学分野	准教授	木戸 淳一	定年退職
	令和5年3月31日	口腔内科	講師	松本 文博	定年退職
□ 転入 (令和4年4月2日～令和5年4月1日)	令和5年2月1日	口腔微生物学分野	教授	住友 倫子	採用
□ 昇任 (令和4年4月2日～令和5年4月1日)	令和5年3月1日	再生歯科治療学分野	講師	細川 育子	昇任

受賞一覧

令和4年4月～令和5年3月

年月	受賞名	受賞者
令和4年5月	第47回日本骨髄腫学会学術集会 優秀ポスター演題賞	比嘉 佳基
令和4年6月	日本口腔インプラント学会 国際誌優秀論文賞	木戸 理恵
令和4年6月	第65回日本歯周病学会 最優秀ポスター賞	二宮 雅美
令和4年6月	2022年度日本接着歯学会論文賞 年間優秀論文賞	保坂 啓一
令和4年6月	Presentation Excellence Award (The 7th International Congress on Adhesive Dentistry)	井内 智貴
令和4年6月	公益社団法人日本補綴歯科学会 第4回JPS Student Clinical Skills Competition 最終選考最優秀賞3位	清水 朱里
令和4年6月	日本口腔科学会学会賞 優秀ポスター賞	福田 直志
令和4年7月	令和4年度歯学部 優秀教育賞	松本 文博
令和4年9月	第64回歯科基礎医学学会学術大会 モリタ学部学生ポスター発表賞	佐藤 幹也
令和4年9月	第52回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会 優秀ポスター発表賞	福田 直志
令和4年10月	徳島県発明工夫展 徳島市長賞	藤原 茂樹
令和4年11月	第67回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 口演発表賞	沖 若奈
令和4年12月	第64回歯科基礎医学学会学術大会 モリタ優秀発表賞(生化学部門)	金晟劍 (Jin Shengjian)
令和4年12月	第68回日本顎口腔機能学会学術大会 最優秀賞	新開 瑞希
令和5年1月	2021年度日本義歯ケア学会 優秀学会賞	藤本けい子
令和5年2月	令和4年度康楽賞	保坂 啓一
令和5年2月	令和4年度康楽賞	川人 伸次
令和5年2月	令和4年度康楽賞	CHAVAN PARIMAL RAVINDRA
令和5年2月	令和4年度康楽賞	加山 美優
令和5年2月	令和4年度康楽賞	丁 程
令和5年2月	令和4年度康楽賞	佐藤 幹
令和5年3月	令和4年度学生表彰	比嘉 佳基
令和5年3月	令和4年度学生表彰	内海 雄太
令和5年3月	令和4年度学生表彰	沖 若奈

広告募集

「歯学部だより」では広告を募集しています。1枠(縦5cm×横9cm)2万円から。詳細は下記までお問い合わせください。
[徳島大学歯学部総務係：TEL.088-633-7940 / E-mail. isysoumu2k@tokushima-u.ac.jp]